



青年局・女性局主催総裁選挙公開討論会に参加



九月二十日、青年局・女性局主催による総裁選挙公開討論会が開催されました。党本部と四十七都道府県連の青年部・青年局・学生部、女性局の約百拠点をオンラインで繋ぎ、三百五十名を超えるメンバーが参加しました。岩手県連からも青年局、女性局の役員四名が参加いたしました。

討論会は牧島かれん青年局長と吉川ゆうみ女性局長の進行のもと、総裁候補者四名による決意表明でスタートいたしました。

河野太郎候補は「デジタル技術を活用した党改革をはじめとして、幅広い声を政策に反映していく」、岸田文雄候補は「中堅、若手の人材を登用して風通しの良い党運営を行う」、高市早苗候補は「強い経済と美しい国づくりで未来への責任を果たす」、野田聖子候補は「こどももみんなが政策で新たなパラダイムシフトを起こしていく」と力強く語りました。

その後、全国のメンバーからも総裁候補者へ直接質問を行いました。若手・中堅議員への想い、多様性・共生社会への考え方、コロナ禍の学生支援、少子化対策、憲法改正、北朝鮮による拉致問題といった各分野の政策で論戦が繰り広げられました。

総裁選の投票締切日は九月二十八日（盛岡中央郵便局必着）となっております。ご検討の上ご投票よろしくお願いたします。

自民党岩手県連街頭演説会を開催



九月十七日、自民党岩手県連・県議会自民党会派街頭演説会を開催いたしました。

岩崎幹事長からは、「新型コロナウイルス感染症に関してはワクチン接種の加速化が収束に向けて大きな手段だ、ワクチンの確保と供給に全力を尽くしていく。そしてこの間大きな打撃を受けた事業者への支援が不足していることから、そういった業種、事業者に光をあてる事業を作る必要がある」と強く訴えました。

自民党県連ではこれまで青年局・女性局を中心として街頭演説を行ってまいりましたが、今後は県連本体としても定期的に行い、我々の政策を皆様にしつかりとお訴えしてまいります。

県議会九月定例会登壇者のお知らせ

岩手県議会9月定例会において自由民主党会派からは3名の議員が一般質問をさせていただきます。また決算特別委員会が開かれることから総括質疑を行います。岩手県議会はインターネットでの視聴ができます。是非ともご視聴いただき、応援いただけますようよろしくお願いいたします。

10月5日（火）
本会議 一般質問 一日目
一人目 城内よしひこ 議員
三人目 臼澤勉 議員

10月6日（水）
本会議 一般質問 二日目
二人目 高橋穩至 議員

10月14日（木）
決算特別委員会総括質疑
佐々木宣和 議員

